

河野 由絵さん (広島県安芸太田町出身)
2016年度1次隊 青年海外協力隊
派遣国:ベナン 職種:幼児教育
2018年6月10日(日)中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

遊びの題材 現地の物で

私は、西アフリカにあるベナンのパイナップル畑に囲まれた赤土の町で暮らしている。湿度が高いこの地では髪の毛がいつも潤い、パサつく心配がないのが良いところ。ベナンに唯一ある公立の幼児教育教員養成学校で活動している。



赤土のグラウンドで楽しそうに遊ぶこどもたち

私のミッションは教員の指導力向上だが、ここでは大人自身の遊んだ経験が本当に乏しい。

大人も子どももいろいろな遊びを経験することが重要だと感じた。だが難しい点も多く存在していた。

例えば、遊びを紹介しようにも遊ぶための物がない。布切れでお手玉を作ったり、縄を編んだり工夫している。

また私たち日本人が常識的に知っている動物や野菜、果物がこちらでは通じない。ベナンの人の身近なものと言えばヤギやブタ、鶏、タロイモ、トウモロコシ、マンゴー…。子どもが好きそうな定番のイチゴやケーキを題材にしようにも、そもそも知らない。そんな中で遊びの題材選びに苦戦した。

「ネコやネズミなら分かりやすいだろうか…」などと試行錯誤しながら、身近な物に置き換え、現地語でやってみると大の大人が大盛り上がりだ。もはや原形にした題材とだいぶ違うものになっていて、私の方が笑いそうになる。

こんなふう楽しい経験を子どもたちにさせられる大人が増えていることがうれしい。楽しい経験は喜び。学ぶことは喜び。そんな経験を多く積みながら子どもたちに育ってほしい。